

# 親子や学校の不安を解消する 通学路安全プログラム

事例紹介 宮城小学校前

## ①学校や保護者からの意見・要望



## ②関係者が集まって会議や現場確認



## 通学路安全プログラムとは？

浦添市が行っている「通学路安全推進合同点検」では、浦添警察署、学校の職員、市職員などが集まり、各学校から出された通学路の問題をもとに実際にその場所を見て、安全対策を考え、通学路を改善していく取り組みをしています。

## 対応策

### ●横断歩道のカラーリング



カラーリングをすることで、ドライバーの目線を誘導でき、注意を促す効果がある。

### ●ポストコーンの設置



ポストコーンの設置は、道幅を狭くして、スピードを減少させる効果がある。

## Interview

# 交通安全指導員の取り組み

浦添市では、市民の交通事故防止を目的に、各小学校区で24人の交通安全指導員が活躍しています。

## ドライバーや歩行者にお願いしたいことは？

立しよう活動を行っている場所が、地域の抜け道や見通しの悪い上り坂になっており、横断歩道上で立しようしているにも関わらず、スピードを出して横断歩道直前で止まるドライバーがいます。そのようなドライバーに対しては、横断歩道付近ではスピードを弱めるよう意識してほしいです。



1994年から活動している  
にしめせいこう  
西銘生弘さん

## 活動を始めたきっかけは？

前田小学校のPTA 副会長をやっていたこともあり、浦添市から声掛けがあったことがきっかけです。

## やりがいは？

子どもたちが横断歩道を渡ろうとしているにも関わらず、スピードを落とさず横断歩道へ近づいてくる車を見かけることがあります。そのような時に、立しよう旗で注意喚起をしたことで車が停止してくれると、「自分の活動が子どもたちを交通事故から守っている」と実感します。

また、立しよう活動中の子どもたちへのあいさつを通して、パワーを貰うことにもやりがいを感じています。

## 今後の目標や抱負など

あと、5・6年は交通安全指導員として頑張っていきたいです。交通安全指導員としての委嘱が終了したとしても、100歳までとはいかないが、足腰が元気な限り続けていきたいです。

## 今、あなたにできること

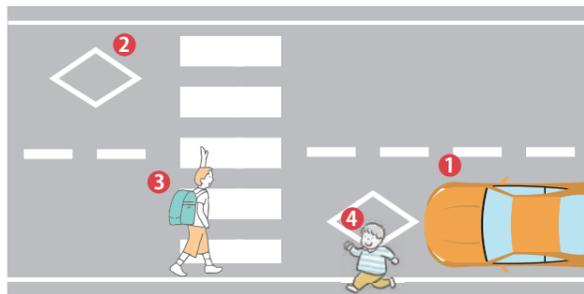
### 🚗 ドライバーの皆さんへ

#### ①横断歩道は歩行者優先です

横断歩道では一時停止が義務付けられています。横断している人や横断しようとしている人がいるときは、手前で一時停止をしましょう。

#### ②◇マークに注意！

この先に横断歩道または自転車横断歩道があります。



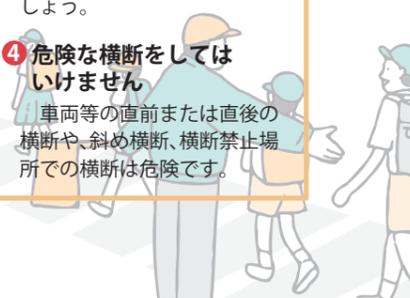
### 🚶 歩行者の皆さんへ

#### ③横断歩道を渡りましょう

近くの横断歩道を必ず利用し、渡る前に左右を確認しましょう。

#### ④危険な横断をしてはいけません

車両等の直前または直後の横断や、斜め横断、横断禁止場所での横断は危険です。



# 地域で考える 交通安全対策

近年、県内の子どもたちの交通事故が増えています。子どもたちの交通事故は皆さんの日頃の習慣を見直すことで対策できます。一人一人の行動が子どもたちを交通事故から守ります。

## 増えています！

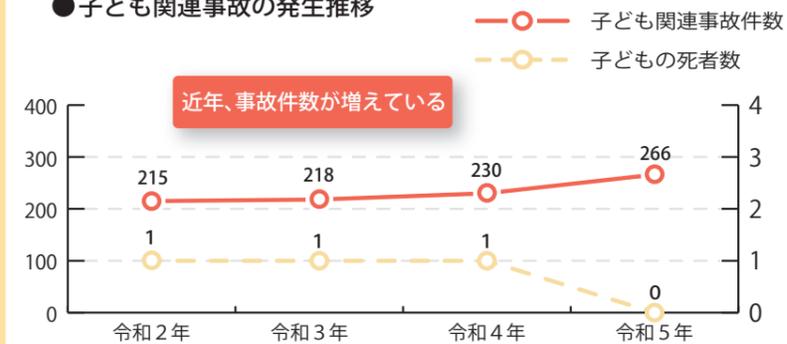
# 子どもたちの交通事故状況

県内の子どもに関連する交通事故件数は、令和2年から令和5年の間でおよそ50件増え、266件となっています。

子どもに関する交通事故では、幼児は車の乗車中が最も多く、小学生は歩行中が最も多いです。中学生は他の学齢と比べて自転車での事故の割合が高くなっています。

交通事故を防止することは、子どもたちだけではなく、大人も子どもも安心して生活できる環境を作ることに繋がります。

## ●子ども関連事故の発生推移



## ●時間帯別の子ども関連事故発生状況

